

第3回IPD懇談会資料

2023年5月26日

日本技術士会 技術士制度検討委員会

IPDシステムを構成するステークホルダーと役割



IPD懇談会の進め方
・ロードマップ：ステップ図



IPDシステムの基本
・コンピテンシーの見直し



IPDシステムプロトタイプ
・各機関の構成と認定・認証の流れ
・IPD実績データの管理
・認定プログラムの構成
・同上（技術者倫理を例として）

産業界

- 科学技術系人材育成へのIPD活用
- IPD支援者の育成・登録
- 社員リカレント教育プログラムとしての活用

IPDシステム運営機関

- IPDガイドラインの策定・改訂
- IPDポイント付与システム管理
- IPDプログラムデータベース管理
- IPD支援者登録・検索システム管理
- 修習技術者データベース管理
- その他修習技術者支援

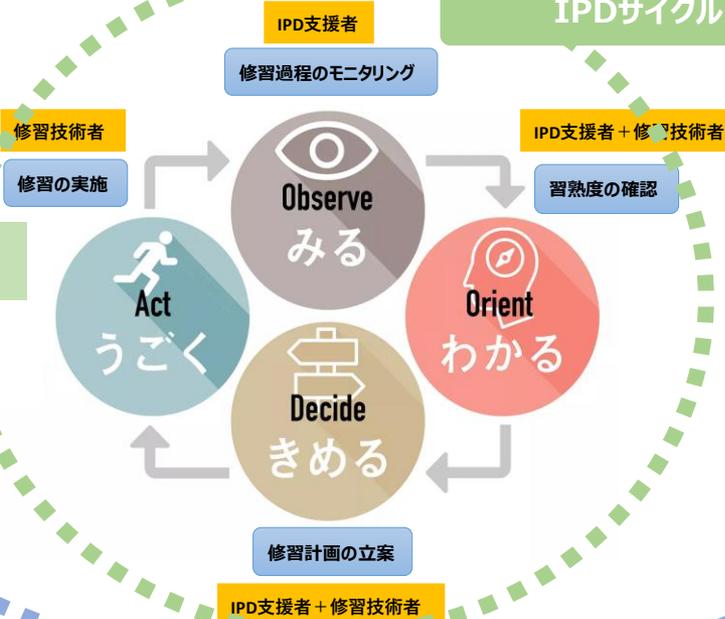
監督官庁

- 科学技術系人材育成におけるIPDの位置づけ
- 技術士制度におけるIPDシステムの位置づけ

IPDプログラム提供機関

- GA確認、強化のための研修素材提供
- PC習得のための研修素材作成・提供

IPDサイクル



IPD認証機関

- IPDポイントの付与
- GA&PCの習熟度の認証

高等教育機関

- GAを意識した工学教育の充実
- リカレント教育の受け皿機能

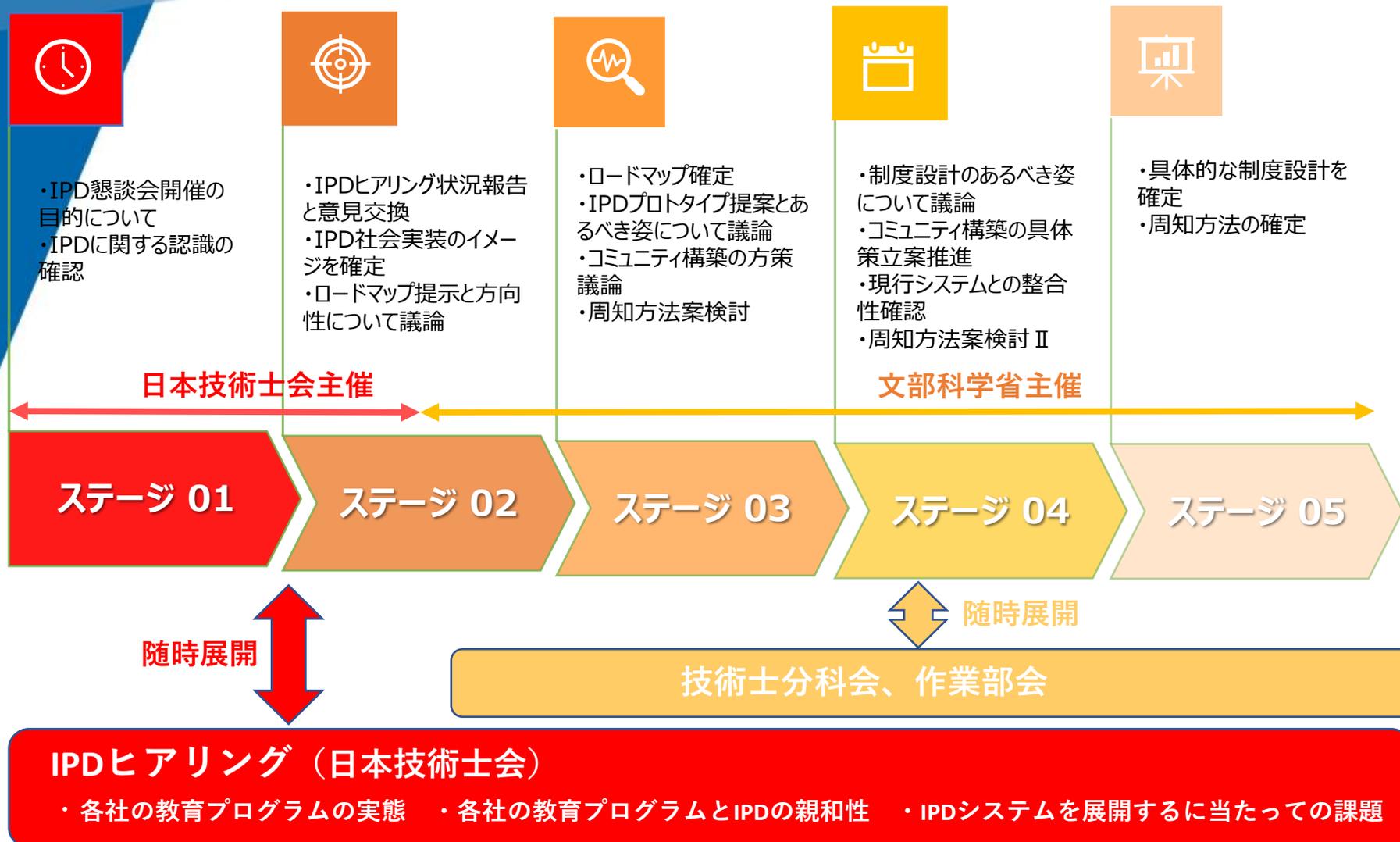
IPDアソシエーションの形成

IPDコミュニティ構築

JABEE

- 技術者育成プログラムの審査
- 教育の質の保証
- 国際的な要件に沿った認定基準

IPD懇談会ロードマップ（案）



IPDシステム運営機関

- ・IPDガイドラインの策定・改訂
- ・IPDポイント付与システム管理
- ・IPDプログラムデータベース管理
- ・IPD支援者登録・検索システム管理
- ・修習技術者データベース管理
- ・その他修習技術者支援

認証

定期報告

IPD認証機関

- ・IPDポイントの付与
- ・GA&PCの習熟度の認証

認証及び定期審査

定期報告

IPDプログラム提供機関

- ・GA確認、強化のための研修素材提供
- ・PC習得のための研修素材作成・提供
- ・IPD支援者の登録

日本技術士会

- ・GA確認、強化のための研修素材提供
- ・PC習得のための研修素材作成・提供
- ・IPD支援者の登録

個別企業A

- ・IPDプログラムの策定
- ・IPD支援者の育成・登録
- ・社員リカレント教育プログラムとしての活用

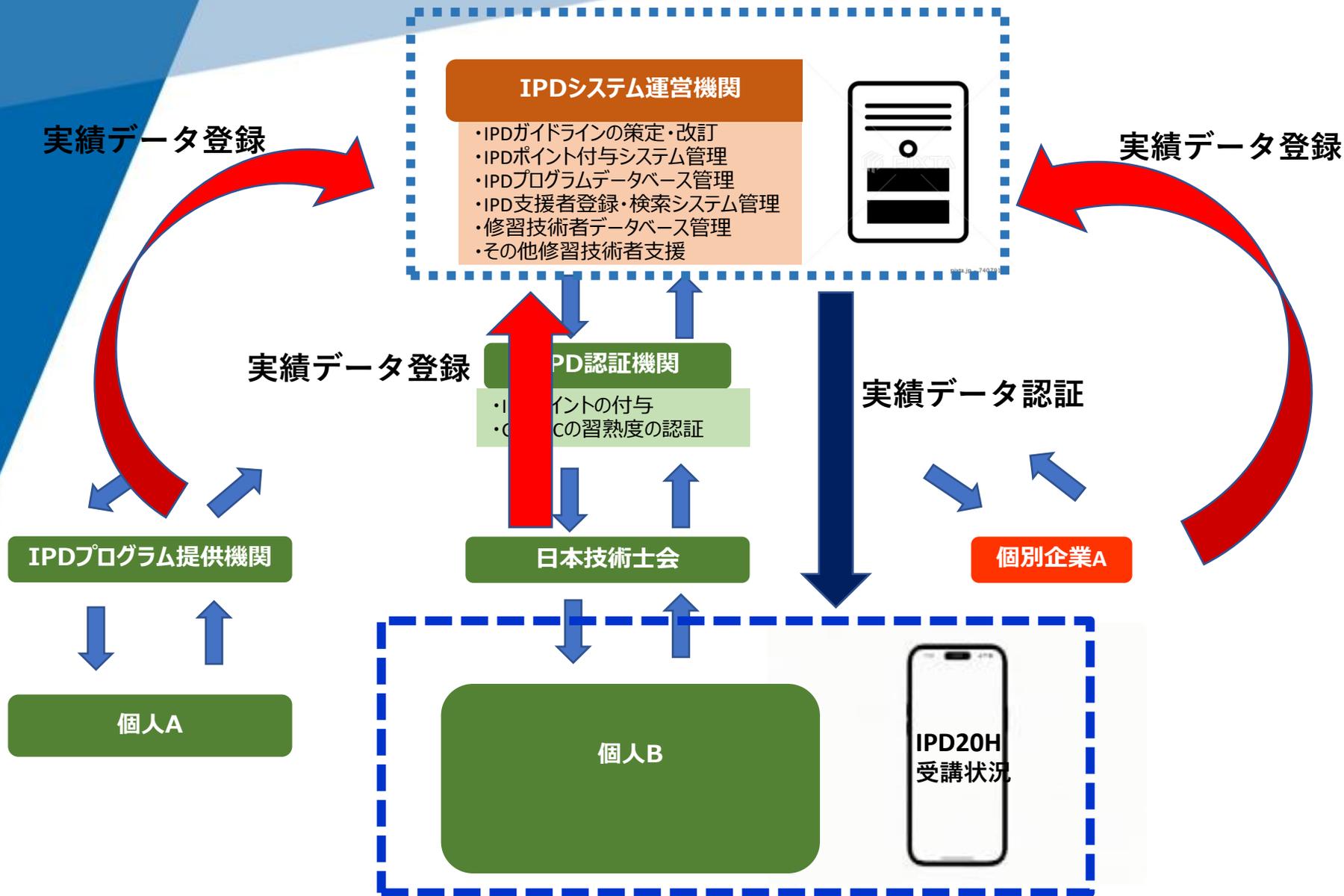
個人を対象

個人を対象

社員を対象

指導

登録



専門的学識

- ・技術士が専門とする技術分野（技術部門）の業務に必要な、技術部門全般にわたる専門知識及び選択科目に関する専門知識を理解し応用すること。
- ・技術士の業務に必要な、我が国固有の法令等の制度及び社会・自然条件等に関する専門知識を理解し応用すること。

問題解決

- ・業務遂行上直面する複合的な問題に対して、これらの内容を明確にし、必要に応じてデータ・情報技術を活用して定義し、調査し、これらの背景に潜在する問題発生要因や制約要因を抽出し分析すること。
- ・複合的な問題に関して、多角的な視点を考慮し、ステークホルダーの意見を取り入れながら、相反する要求事項（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）、それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で、複数の選択肢を提起し、これらを踏まえた解決策を合理的に提案し、又は改善すること。

マネジメント

- ・業務の計画・実行・検証・是正（変更）等の過程において、品質、コスト、納期及び生産性とリスク対応に関する要求事項、又は成果物（製品、システム、施設、プロジェクト、サービス等）に係る要求事項の特性（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）を満たすことを目的として、人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すること。

評価

- ・業務遂行上の各段階における結果、最終的に得られる成果やその波及効果を評価し、次段階や別の業務の改善に資すること。

コミュニケーション

- ・業務履行上、情報技術を活用し、口頭や文書等の方法を通じて、雇用者、上司や同僚、クライアントやユーザー等多様な関係者との間で、明確かつ包摂的な意思疎通を図り、協働すること。
- ・海外における業務に携わる際は、一定の語学力による業務上必要な意思疎通に加え、現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

リーダーシップ

- ・業務遂行にあたり、明確なデザインと現場感覚を持ち、多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努めること。
- ・海外における業務に携わる際は、多様な価値観や能力を有する現地関係者とともに、プロジェクト等の事業や業務の遂行に努めること。

技術者倫理

- ・業務遂行にあたり、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮した上で、社会、経済及び環境に対する影響を予見し、地球環境の保全等、次世代にわたる社会の持続可能な成果の達成を目指し、技術士としての使命、社会的地位及び職責を自覚し、倫理的に行動すること。
- ・業務履行上、関係法令等の制度が求めている事項を遵守し、文化的価値を尊重すること。
- ・業務履行上を行う決定に際して、自らの業務及び責任の範囲を明確にし、これらの責任を負うこと。

継続研さん

- ・CPD 活動を行い、コンピテンシーを維持・向上させ、新しい技術とともに絶えず変化し続ける仕事の性質に適應する能力を高めること。

平成26年3月7日
改訂 令和5年1月25日
科学技術・学術審議会
技術士分科会

技術者倫理

| ステップ | I | II | III | IV | V |
|------|----------------|------------------|----------------------------|------------------------|----------------|
| 達成度 | 技術者倫理の基本が理解できる | 技術者倫理の失敗事例を理解できる | 技術者倫理の失敗事例から分析を行い、対策を立案できる | 実務に於ける技術者倫理実践計画の策定が出来る | 技術者倫理の実践が可能である |

マネジメント

| ステップ | I | II | III | IV | V |
|------|-----------------|--------------------|-------|--------------------|-------------------|
| 達成度 | マネジメントの基本が理解できる | 小規模プロジェクトのマネジメント実施 | 同左の評価 | 大規模プロジェクトのマネジメント実施 | 同左の評価と今後に向けての計画立案 |

リーダーシップ、コミュニケーション、評価、問題解決も同様の構成とする

専門的学識

| ステップ | I | II | III | IV | V |
|------|---|----|-----|----|---|
| 達成度 | | | | | |

企業の場合は指導者が、個人の場合はIPD支援者が**実務を通じて**判定する

基本ステップ

| 区分 | ステップ1 | ステップ2 | ステップ3 | ステップ4 | ステップ5 |
|-----|--------------------|---|----------------------------|---------------------------------------|----------------------------|
| 内容 | ・技術者倫理綱領の学習とレポート作成 | ・技術者倫理に関するe-ラーニング受講Ⅰ ・集合研修によるケーススタディ | ・技術者倫理に関するe-ラーニング受講Ⅱ | ・実務に於ける技術者倫理実行計画策定 ・集合研修によるケーススタディ | ・技術者倫理実践報告と振り返り今後に向けた計画案策定 |
| 達成度 | 技術者倫理の基本が理解できる | 技術者倫理の失敗事例を理解できる | 技術者倫理の失敗事例から分析を行い、対策を立案できる | 実務に於ける技術者倫理実践計画の策定が出来る | 技術者倫理の実践が可能である |

個人



IPDプログラム提供機関（IPD支援者＝技術士（CPD認定））

報告

IPD認証機関

End of Presentation